

7. 【ステップアップ研修】

子どもたちに授業をする教師がまず ICT 機器に慣れ親しむためにステップアップ研修を毎月第3水曜の放課後に開催しました。

今までの授業にタブレット端末を取り入れていくとなんとか便利になるような気がするけれど、、、。操作の方法すらわからない、、、。タブレット端末の活用に不安を感じる教員が多く、最初の一步が踏み出せないことが現状でした。そこで、タブレット端末など ICT 機器を活用してプレゼンテーションをするスキルや基本操作を学びあえる場、ICT 機器を用いた授業作りについて話し合える場を作りました。実践している教員が講師となり研修会を開きました。



◆iPad を使った効果的な授業作り (2019年7月)

富田林市立川西小学校の先生方にお越し頂き、iPad を使った教師指導型の授業実践を紹介していただきました。国語・算数・社会・音楽などを楽しく学べる教材が先生方の手作りだったことに驚き、自分たちでも作れそう！と興味を持つことができました。この研修を通して、授業で iPad を活用したいと思う教員が増えました。

- ① 大型テレビと iPad を接続する方法を知る。
- ② 「Keynote」の基本操作に慣れる。
- ③ 自己紹介カードを作る。
- ④ 作った教材をエアドロップで共有する。



◆学習活動ソフトウェア SKYMENU 研修 ①

(2020年12月)



学習活動ソフトウェア SKYMENU を用いた研修を行いました。

2年生の算数(三角形のしくみ)の教材を用いて、授業者用のタブレット操作方法と、学習者用のタブレット操作方法を学びあいました。授業者の画面を学習者のタブレットに投影したり、教材の配布・教材の回収をしたりしました。カメラ機能・スライド機能についてのスキルアップ研修を行いました。

◆プログラミング教材、アンプラグド教材の研修（2019年11月）

学研プラスから講師を招いて、アンプラグド教材の紹介をしていただきました。
プログラミング教材を用いて授業実践について学びあいました。

低学年向けの教材は ICT 機器を使わなくてもゲーム感覚で
プログラミング的思考を養うことができました

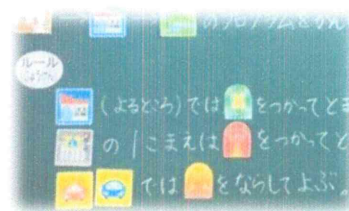
（参考資料）

「カードでピピッと はじめてのプログラミングカー」

「ロジカルキッズワーク」

「さわって学べる プログラミング図鑑」

「テラと7人の賢者」



◆マイクロビット、アーテックロボ2.0の研修（2019年8月、2020年1月）

第一回目は、大阪産業大学の山田啓次先生に、プログラミング教育に関する講演を行って頂きました。また講演後には、アーテックロボを使った実技研修を行いました。

第二回目は、マイクロビット、アーテックロボ2.0を使った実技研修も行いました。

実際に動かしてみないとわからないもので、試行錯誤を繰り返し自分の思い通りにロボットが動いたとき、まるでエンジニアになったような気分で歓声があがりました。



◆1人1台タブレット端末を用いた自学習について（2019年10月）

光文書院の方に来ていただき、1人1台タブレット端末を用いた自学習の方法について紹介していただきました。復習や予習の内容が自分たちのレベルに応じて設定できることを知り、朝学習や授業の導入で活用できないか話し合いました。

◆学習活動ソフトウェア SKYMENU の研修 ② (2020年2月)

一年次公開授業後に、Sky株式会社の方を講師に招いて、SKYMENU の使用方法を教えてくださいました。①回目の応用編で講義をしていただき、児童に多様な考え方を引き出させるためのしかけがありました。提示の仕方を工夫することで授業の流れが変わるため効果的な使用が求められました。



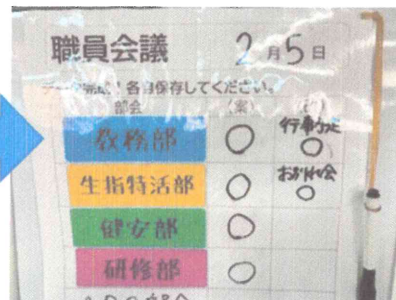
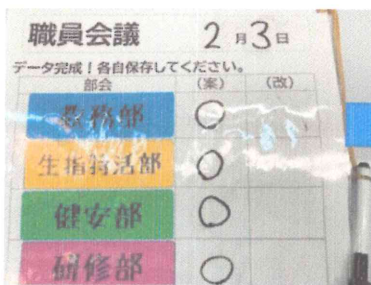
(追っかけ再生、教材の配布方法、発表ノート、マッピング、画面合体、タイマー、プログラミング、画像貼り付け方法)

◆校務の ICT 活用に向けての研修

会議の資料作成、成績処理や通知表の作成など、教員の校務に ICT 活用を取り入れました。

① 職員会議資料のペーパーレス化(2020年1月より部分的に開始)

- ・各部会からの案件を共有フォルダから各自のパソコンに保存し閲覧しました。
- ・放課後の会議資料の印刷、ホッチキス止めの作業がなくなりました。



- ・会議前 (左写真) …資料の準備ができたことをホワイトボードでお知らせしました。
- ・会議後 (右写真) … (案) に変更や追記があった場合は (改) を作成して再保存するようにしました。

② 通知表のデータ化(2020年4月より開始)

光文書院の方を講師に招いて校務支援ソフト「ひまわり先生」の研修(8月、3月)をしました。成績処理、児童の所見の入力方法などを教えていただきました。